

114 マレック病〔届〕

担当	検 査 チ ャ ー ト
家畜保健衛生所	<pre> graph TD     A["(1) 疫学調査"] --- B["(2) 臨床検査"]     B --- C["(3) 剖検"]     C --- D["(4) 病理組織検査"]     C -- "(死亡鶏・鑑定殺鶏)" --&gt; C     D -- "+" --&gt; E["(+)", "判定・結果"]     D -- "-" --&gt; F["(-)", "判定・結果"]         </pre>
病性鑑定施設	<p>(+) (-)</p>
判定・結果	<p>(+) (-)</p>
最終判定	疫学調査、臨床検査および病理組織検査の結果により総合的に判断する。
その他	

→類似疾病検査

- ① 118 鶏白血病    ② 一過性麻痺    ③ 124 鶏脳脊髄炎
- ④ 110 ニューカッスル病・低病原性ニューカッスル病    ⑤ 117 伝染性ファブリキウス嚢病
- ⑥ 131 鶏ポツリヌス症    ⑦ 細網内皮症

○ 病原体: マレック病ウイルス; Marek's disease virus type 1 [*Gallid herpesvirus 2*, *Mardivirus*, *Herpesviridae*]

(1) 疫学調査

- ① 予防接種をしていない群では高率に発生するが、予防接種鶏においても発生する可能性がある。  
ワクチンが適切に接種されていない場合の発生にも注意
- ② 6週齢以降に散発的かつ継続的に発生する。
- ③ ウイルス株によって病原性が異なる。
- ④ 育成場の追跡調査が必要

(2) 臨床検査

- ① 脚や翼の麻痺、希に頭部下垂、斜頸、開口呼吸
- ② 発育不良
- ③ ときに毛根部、皮膚、筋肉に腫瘍形成
- ④ 希に眼の異常

(3) 剖 検

- ① 末梢神経の腫脹(神経型)
- ② 肝臓、脾臓、腎臓、卵巣、心臓、腺胃、筋肉、皮膚などの白色髄様の腫瘍性病変が好発(内臓型)
- ③ 神経型および内臓型の病変は併発

(4) 病理組織検査

- ① 末梢神経におけるリンパ様細胞の浸潤または腫瘍性増殖
- ② 臓器におけるリンパ様細胞の浸潤または腫瘍性増殖
- ③ 正常組織との境界が不明瞭な腫瘍細胞の浸潤性増殖
- ④ ファブリキウス嚢の濾胞間質におけるリンパ様細胞の浸潤または増殖

(参考文献)

・鶏病研究会編: 鳥の病気.